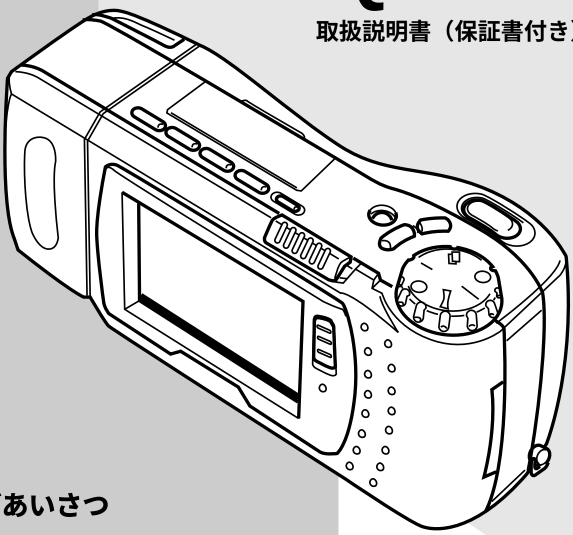
P　Z

液晶デジタルカメラ

QV-700

取扱説明書（保証書付き）



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。

本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、本書の「安全上のご注意」をお読みください。本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

絵表示の例

分解禁止	○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
プラグを抜く	● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

ＡＣアダプター（別売品）ご使用時

禁　止
- ● 表示された電源電圧（AC100V～120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ＡＣアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ● ＡＣアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。
- ● ＡＣアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。

⚠ 警告

ＡＣアダプター（別売品）ご使用時

禁　止
- ● 濡れた手でＡＣアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ● タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。

注　意
- ● 万一ＡＣアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

移動しながら撮影しないでください

禁　止
- ● 自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、モニターを見ないでください。転倒、交通事故の原因になります。

分解・改造しないでください

分解禁止
- ● 本機のケースを開けて分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店またはカシオサービスセンターにご依頼ください。

水などがかからないようにしてください

水場での使用禁止
- ● 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。 火災・故障・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺、風呂場での使用は特にご注意ください。

プラグを抜く
- ● 万一、異物や水が本機の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

⚠ 警告

異常状態で使用しないでください。

プラグを抜く
- ● 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・故障・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

落としたり、破損したときは

プラグを抜く
- ● 万一、本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

ストロボご使用時

禁　止
- ● ストロボを人（特に顔）に向けて至近距離で発光させないでください。視力の低下などの障害を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

持ち運びのとき

禁　止
- ● 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

注意

電池の取り扱いについて

禁止

- ● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

バックアップについて

注意

- ● 本機への物理的な損傷や事故などにより、撮影した内容が消失することがあります。本機で撮影した内容は、パソコンに転送してバックアップとして保管することをお勧めいたします。

撮影内容の保護について

禁止

- ● 撮影中、画面に“WAIT”の表示が出ている間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。画面に“WAIT”が表示されている間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。

設置場所について

禁止

- ●（ぐらついた台の上や傾いた所など）不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。
- ● 炎天下の車中に長時間放置しないでください。高熱によりキャビネット等が過熱・変形する原因となることがあります。

注意

ＡＣアダプターの取り扱いについて

禁止

- ● 電源コードをストーブ等の熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・故障・感電の原因となることがあります。
- ● 電源プラグをコンセントから抜くときは必ずＡＣアダプターの本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・故障・感電の原因となることがあります。

ACアダプターの取り扱いについて

注意

- ● ＡＣアダプター本体はコンセントの奥まで確実に挿入してください。正しく挿入されないと火災や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かないでください

禁止

- ● 重いものを置くと、置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

液晶パネルの取り扱いについて

禁止

- ● 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- ● 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
  - 万一口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。
  - 目に入ったり、皮膚に付着した場合は清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

■あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

データエラーについて

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下の様なお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- 記録、通信中に電池をはずしたり、ACアダプターをはずしたとき
- 撮影中などにメモリーカードを抜いたとき
- 通信中のケーブルはずれ
- 消耗した電池を使用し続けたとき
- その他の異常操作

この様な場合カメラの操作ができなくなり、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願い致します。



メモリーカードエラー画面

画面に表示されるメッセージとその対処方法。
（→109ページ）



システムエラー画面

最寄りのカシオサービスセンターへご連絡ください。
（→117ページ）

電池寿命について

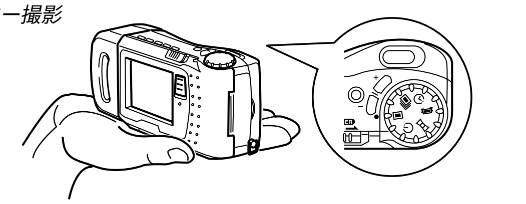
- 本取扱説明書に記載の電池持続時間は、推奨メーカーの電池を標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。
  （持続時間は電池メーカー、電池製造時期、周囲温度により大きく左右されます。）
- 連続してご使用になりますとバッテリー警告（）が早く出ますので、使用しないときは、こまめに電源を切る事をお勧めします。
- バッテリー警告マークは電源が切れる寸前であることを示しております。交換の際は４本とも新しい電池と交換してください。
  消耗した電池での連続使用は液漏れやデータ破壊の原因となることがあります。

目次

本機の特徴

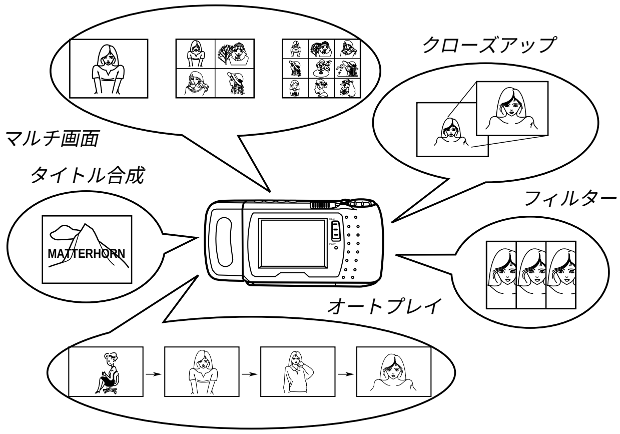
多岐な撮影種類を撮影ダイヤルで簡単に選択

連写撮影／タイマー撮影／パノラマ撮影／タイトル撮影／セルフタイマー撮影



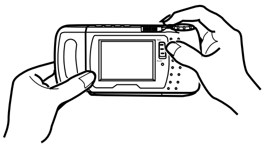
多彩な表示機能を搭載

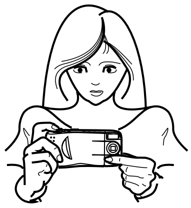
一度に複数画面を一覧するマルチ画面表示、ディテール確認のためのクローズアップ機能、撮影した画像を自動的に次々と表示するオートプレイ機能、撮影した画像にタイトルを合成する機能、撮影した画像に特殊効果をかけるフィルター機能、日時入力機能など、さまざまな表示機能を搭載しています。



2.5型の大型液晶搭載

高画質ＴＦＴ方式の液晶画面は、2.5型を使用しており、明るい所でも見やすい低反射方式のものを採用しています。





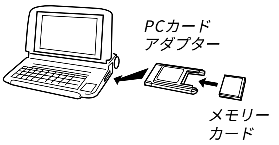
メモリーカードをパソコンに接続

本機では、メモリーカード（COMPACTFLASH）に画像データを保存しています。メモリーカードは、パソコンに接続して画像データを送受信することができます。
ノートブック型の場合は、別売のPCカードアダプター<CA-10>にメモリーカードをセットして、ダイレクト接続することができます。
また、デスクトップ型の場合は、PCカード用　リーダー／ライターにPCカードアダプター<CA-10>と、メモリーカードをセットすることで接続することができます。

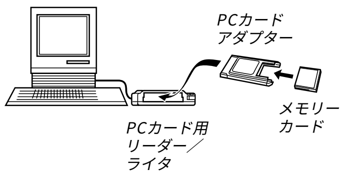
重要！

メモリーカードに保存された画像を見るには、パソコンリンクソフト<LS-7W/LS-8M>が必要です。

ノートブック型



デスクトップ型



その他のご注意

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所。
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所。
  - 日中の車内、振動の多い場所。

結露について

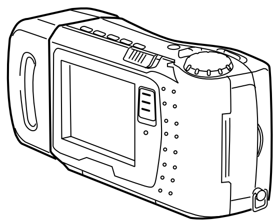
- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

はじめに

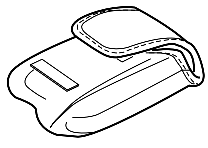
ここでは、本機をお使いになる前の付属品の確認、各部の名称、電源について説明しています。また、ごく基本的な操作だけをまとめた「使いかた早分かり」を含んでいます。

付属品の確認

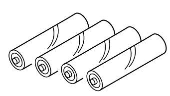
箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。



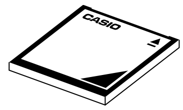
デジタルカメラ本体



ソフトケース

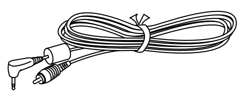


アルカリ電池（単３x４）

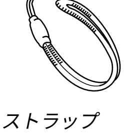


メモリーカード（2MB）

＊出荷時には、デジタルカメラ本体に装着されています。

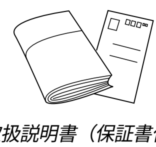


専用ビデオコード



ストラップ

- 本体への取付けかたは、20ページを参照してください。

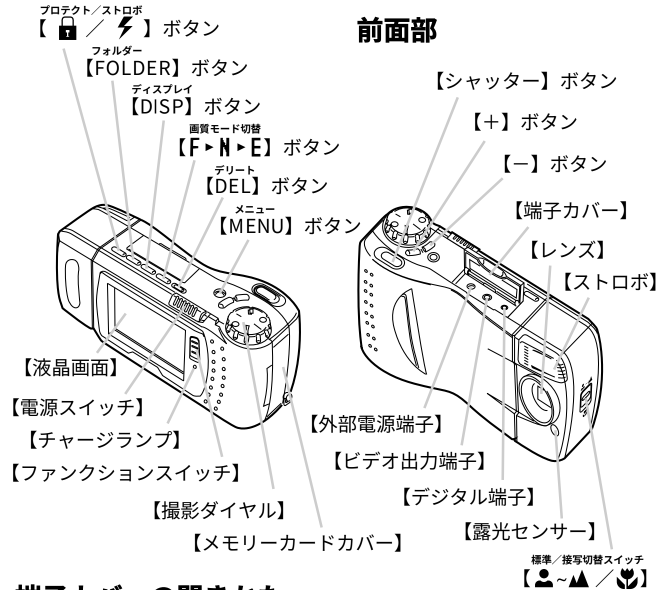


取扱説明書（保証書付き）
アンケートカード

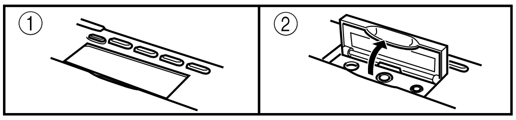
各部の名称

この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

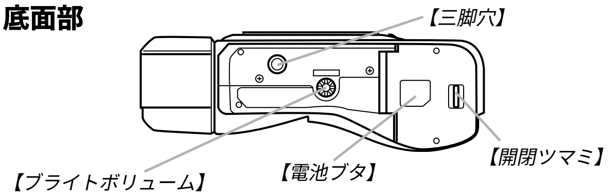
後面部



端子カバーの開きかた



底面部



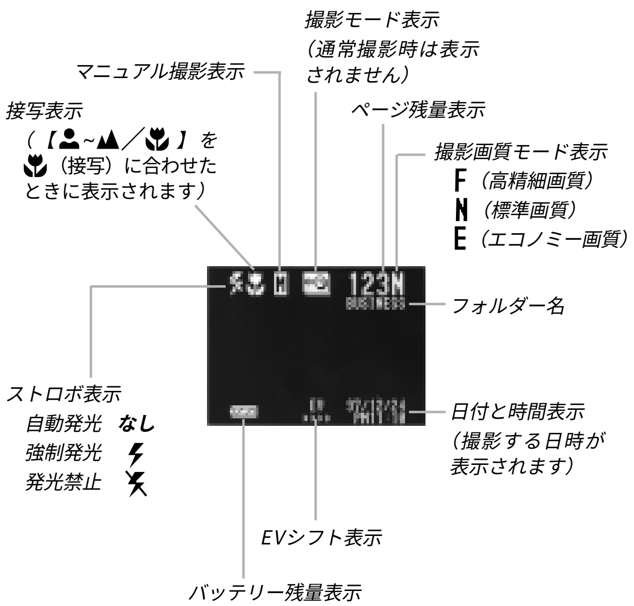
- 液晶画面の明るさを調節するのに使うためのボリュームです。本機の工場出荷時に、もっとも適切な位置に設定されており、調節の必要はありません。

撮影ダイヤル部

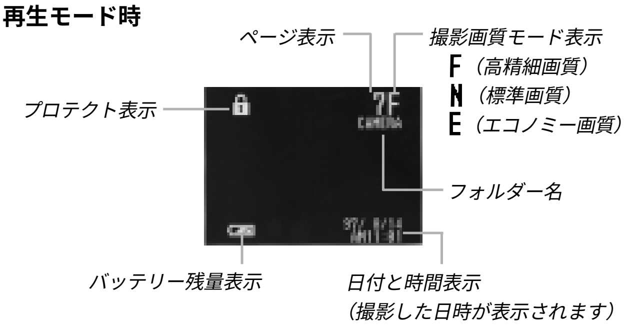
	通常撮影	普通に撮影するときに合わせます。
	連写撮影	連続撮影するときに合わせます。3種類の撮影方法があります。
	タイマー撮影	時間を設定して撮影するときに合わせます。 設定方法によりさまざまな撮影パターンがあります。
	タイトル撮影	タイトル撮影するときに合わせます。
	パノラマ撮影	パノラマ撮影するときに合わせます。
	セルフタイマー撮影	セルフタイマー撮影するときに合わせます。

表示画面について

撮影モード時

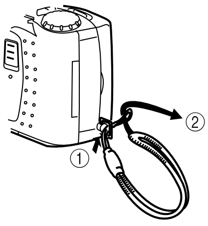


再生モード時



ストラップの取付けかた

ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりとひっぱります。

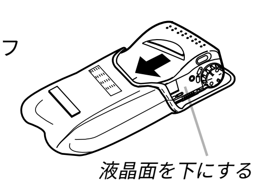


重要！

カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。

ソフトケースの使いかた

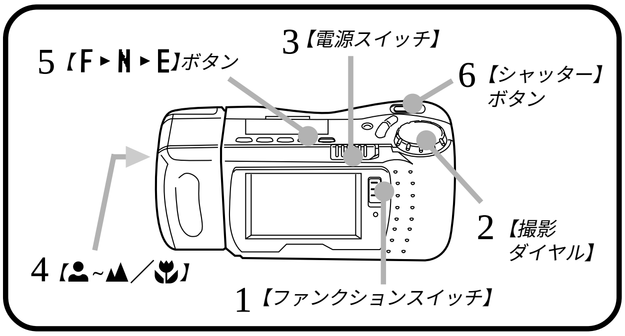
ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



使いかた早分かり

■ 撮影するには

＊操作の前に、付属の電池のセット（29ページ）と、日時の設定（34ページ）をしてください。



1. [REC]（撮影）に合わせます。
2. ▭（通常撮影）の位置に合わせます。
3. 電源（右方向にスライド）を入れます。
4. 👤~▲（標準）の位置に合わせます。

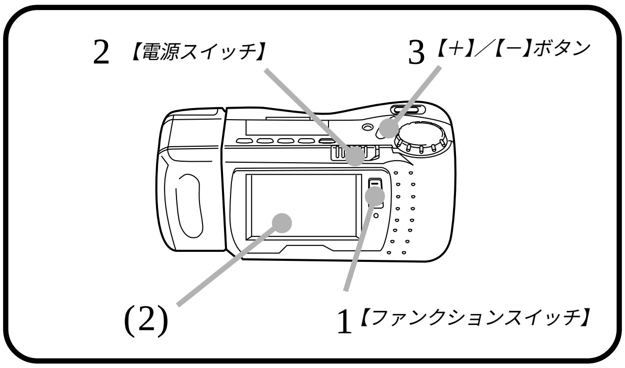
   ＊ *接写の場合は 🌷（接写）の位置が適しています。標準／接写切替についての説明は、43ページを参照してください。*
5. 撮影する画質モードを選択（ボタンを押す）します。

   ＊ *高精細画質 " F " → 標準画質 " N " → エコノミー画質 " E " の順で精細な画質になります。*
6. ゆっくりと【シャッター】ボタンを押します。

   ＊ *電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度右方向にスライドさせてください。*

■ 撮影した内容を見るには

本機の液晶画面に、撮影した内容を表示させることができます。

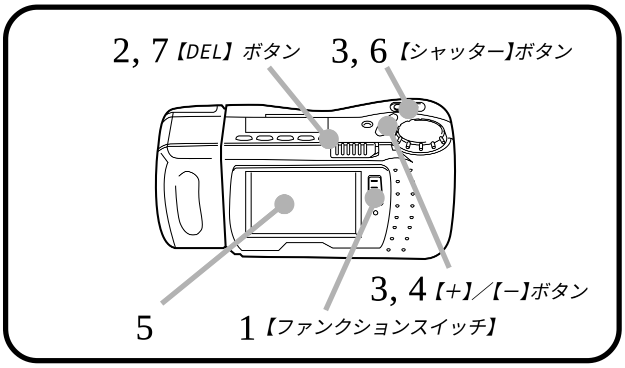


1. [PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 電源（右方向にスライド）を入れます。

   (2) 画面に撮影内容が表示されます。
3. 【+】ボタンまたは【−】ボタンを押すと、記録した画像の送り／戻しができます。

   ＊ *電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度右方向にスライドさせてください。*

■ いらない画像を削除するには



1. [PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【DEL】ボタンを押します。
3. 【+】ボタンまたは【−】ボタンで " PAGE "（1枚削除）を選び、【シャッター】ボタンを押します。
4. 【+】ボタンまたは【−】ボタンで削除する画像を選びます。
5. 現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。

   ＊ *削除を中止したい場合は、【DEL】ボタンを押してください。*
6. 【シャッター】ボタンを押します（削除完了）。
7. 削除の操作を終了するには、【DEL】ボタンを押します。

メモリーカードについて

本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード（COMPACT-FLASH）を使用しています。

メモリーカードは出荷時には装着された状態になっています。

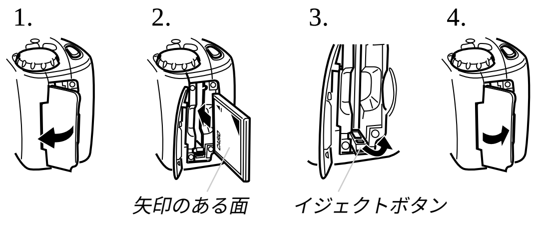
重要！

- メモリーカードの抜き差しの際は、電源を切った状態で行なってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがありますのでご注意ください。

メモリーカードを入れるには

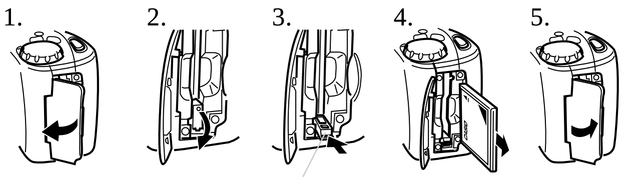
1. 【メモリーカードカバー】を開きます。
2. メモリーカード表面の矢印を上にして、しっかり押し込みます。
3. イジェクトボタンを手前に引きながら倒します。

   ＊ *手前に引き出さずに、そのまま無理に倒そうとすると破損の恐れがあります。*
4. 【メモリーカードカバー】を閉めます。



メモリーカードを取り出すには

1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**
2. **イジェクトボタンを起こします。**
3. **イジェクトボタンをまっすぐ押します。**
4. **メモリーカードを取り出します。**
5. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**



参考

メモリーカードを追加でお買い求めの際は、カシオ製（CF-2v＜2MB＞/CF-4v＜4MB＞/CF-10v＜10MB＞/CF-15v＜15MB＞）をおすすめします。

重要！

- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないようにご注意ください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部内に入り込んだ場合は、本体の電源を切り電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

メモリーカードのフォーマット

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容を全て消去することができます。

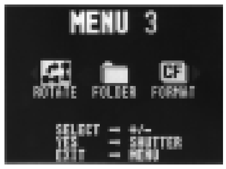
重要！

一度メモリーカードをフォーマットしますと、二度とデータを元に戻すことはできません。
フォーマットの操作を行なう際は、本当にフォーマットしてもいいメモリーカードかどうかをよく確かめてから行なってください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】ボタンを押します。**

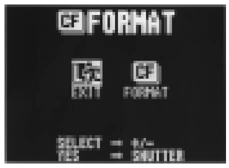
   →“ FORMAT ” は「MENU 3」にあります。

   ＊ メモリーカード内に画像がない場合は「MENU」表示になります。



3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ FORMAT ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   →“ FORMAT ” メニューが表示されます。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ FORMAT ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

メモリーカードの注意事項

- 本機はメモリーカードが装着されていないと画像が記録されません。必ずメモリーカードを装着してご使用ください。
- メモリーカードは必ずカシオ製を使用してください。
  他社のメモリーカードをお使いの場合の動作保証はできません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅（破壊）することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップされることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードエラーが発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作（109ページ）で復帰できますが、外出先などでこの操作を行なえない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。

メモリーカード内のフォルダーに関する注意事項

- 本機はメモリーカード内に、次ページのフォルダーが作られていない場合、自動的にフォルダー（ディレクトリ）を作成します。（74ページ）
- パソコン等で次ページのフォルダー名称以外のフォルダーを作成しても、本機では表示されません。
- 1つのフォルダーに保存される画像は250枚までです。パソコン等で251枚以上画像を保存しても、本機では表示されません。
- ページ残量表示は、メモリーカード全体の容量と各フォルダー内の撮影可能枚数を比較して、低い値を優先させて表示します。

- カメラ内では画像ファイル名は、

  フォルダー名（前５文字）＋３桁の番号＋拡張子（CAM）

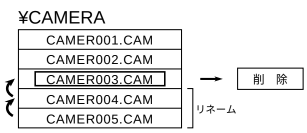
  として名付けられます。

  番号は常に連番であり、よって削除したり移動したりすると名前が変更（リネーム）されます。

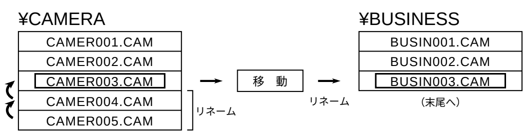
フォルダー名

¥CAMERA, ¥BUSINESS, ¥PRIVATE, ¥AAAAA, ¥BBBBB, ¥CCCCC

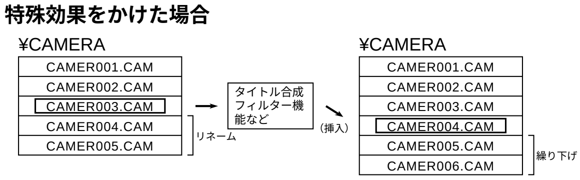
削除した場合



移動した場合



特殊効果をかけた場合



＊パソコンでカメラ内のルールと異なる名前をつけると、リネームされます。

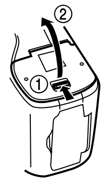
電源について

本機は、乾電池（単３型アルカリ電池および、リチウム電池）または家庭用電源を利用できる２電源方式です。

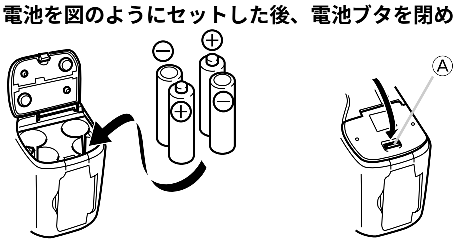
電池を入れるには

電池交換の際は、電源を切った状態で行なってください。

1. **本体底面の電池ブタの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ（①）、フタを開きます（②）。**



2. **電池を図のようにセットした後、電池ブタを閉めます。**



- 必ず単３形のアルカリ電池および、リチウム電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません（30ページ)。
- ⊕／⊖の向きを正しく入れてください。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 電池ブタの先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

電池の取り扱い上のご注意



● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

● 電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

● 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- ２週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。

電池の発熱について

電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

電池持続時間の目安

以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使 用 電 池	単３型アルカリ電池　LR6	単３型リチウム電池　FR6
連続再生時	約160分	約270分
連続撮影時	約550枚撮影可能	約1,050枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業（株）製 リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

連続撮影枚数は、ストロボを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。

ストロボの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。

電池消耗時の表示(バッテリー警告)について

本機の電池が消耗すると本機の画面中央にバッテリー警告 “ ” が表示されます。

これは、そのまま使用すると電池が切れてしまう寸前であることを示しています。

交換の際は４本とも新しい電池と交換してください。

メモリーカードについて

本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード(COMPACT FLASH)を使用しています。メモリーカードは、電池の消耗などにより本機への電源の供給が途絶えた場合でも、記録した撮影画像のデータを保持することができます。電池消耗により本機の電源が入らなくなった場合でも、新しい電池を入れ直すか、別売品のACアダプターを接続して再度電源を入れることで、撮影した画像を再び見ることができます。

オートパワーオフ

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、撮影モード時*で約２分、再生モード時*で約５分です。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

* 【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置にセットした状態を「撮影モード」、[PLAY](再生)の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

重要！

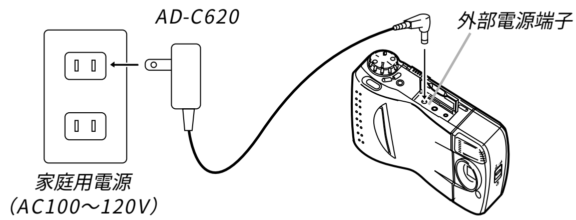
以下の状態では、オートパワーオフは働きませんので、ご注意ください。

- オートプレイ中(71ページ)
- 本機のデジタル端子を通じて本機を外部のパソコンなどと接続しており、パソコンから本機を操作しているとき(99ページ)
- ACアダプターを接続しているとき(32ページ)

家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620）をご利用ください。

＊AD-C620は米国などAC100〜120Vの電源地域への旅行の際は、そのままご使用になれます。



ACアダプターについてのご注意



- 表示された電源電圧（AC100〜120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります。（ＡＣアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ＡＣアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。
- ＡＣアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。

- 濡れた手でＡＣアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ＡＣアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。

日時設定について

日付および、時刻を設定します。

重要！

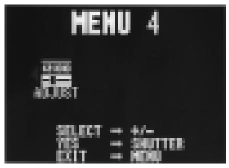
日時設定を行ないませんと、日時は記録されません。日時設定を行なってからご使用ください。

日付および時刻を設定する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】ボタンを押します。**

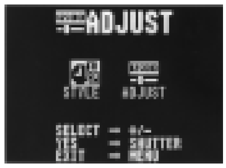
→“ ADJUST ”は、「MENU４」にあります。

＊ メモリーカード内に画像がない場合は「MENU」表示になります。



3. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“ ADJUST ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

→“ ADJUST ”メニューが表示されます。



4. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“ ADJUST ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**



5. **時刻と日付を指定します。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押し続けて反転表示部分の数字などを変えて【シャッター】ボタンを押します。

  他の部分が網かけ状態になるので、同様に設定します。

＊ 設定を終了する場合は、【MENU】ボタンを押します。【MENU】ボタンを押すとセットされます。

表示スタイルを変更する

3通りの表示方法を選ぶことができます。

例）1998年5月12日

1998/5/12、12/5/1998、5/12/1998と表示します。

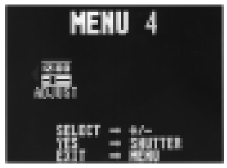
このスタイルで撮影する画像へ取り込まれます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】ボタンを押します。**

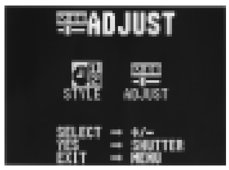
→“ ADJUST ”は、「MENU４」にあります。

＊ メモリーカード内に画像がない場合は「MENU」表示になります。



3. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“ ADJUST ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

→“ ADJUST ”メニューが表示されます。



4. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“ STYLE ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

→“ STYLE ”メニューが表示されます。



5. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで日付のスタイルを選び【シャッター】ボタンを押します。**

操作のしかた

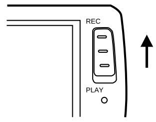
ここでは、本機の操作のしかたを詳しく説明します。撮影に際して調節のできる各項目、撮影した画像の見かたのさまざまなバリエーション、必要のない撮影内容の削除のしかたについてが記載してあります。

撮影する

基本的な撮影

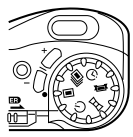
最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

1. **撮影モードを選びます。**

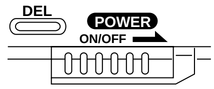


- 【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。

2. **【撮影ダイヤル】を（通常撮影）の位置に合わせます。**



3. **電源を入れます。**



- 【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。

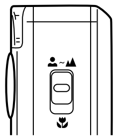
＊ *【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。*

→ *この時、液晶画面には、レンズを向けた方向の光景が表示されます。*

＊ *手順１と２は、どちらの操作を先に行なっても構いません。*

＊ *電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。*

4. **【~／】を~（標準）の位置に合わせます。**



- 15cm前後の位置にある被写体を撮影する場合は、（接写）の位置が適しています。標準／接写切替についての詳しい説明は、43ページを参照してください。

5. **画質モードを切り替えます。**

- 【F ▸ N ▸ E】ボタンを押します。

＊ *【F ▸ N ▸ E】ボタンは１回押すたびに高精細画質“ F ”→ 標準画質“ N ”→ エコノミー画質“ E ”の順で切り替わります。*

＊ *高精細画質、標準画質、エコノミー画質では、保存できる枚数が異なります（43ページの「画質モードの切り替え」を参照してください）。*

6. **保存するフォルダーを選択します。**

- 【FOLDER】ボタンを押します。

＊ *６種類のフォルダーがあり、【FOLDER】ボタンを、１回押すたびに切り替わります。*

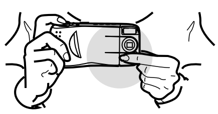
フォルダー分類についての説明は、74ページを参照してください。

7. **撮影します。**

- 液晶画面を見ながら、被写体にフレームを合わせます。

＊ *液晶画面は、正面から見るようにしてください。*

＊ *レンズと露光センサーを指でふさがないようにご注意ください。*



- 撮影するフレームが決まったら、ゆっくり【シャッター】ボタンを押します。

＊ *手ブレを起こさないために、【シャッター】ボタンは静かに押してください（次ページの「手ブレについて」もご参照ください）。*

＊ *ここで【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）に合わせると、今撮影した内容が確認できます。*



撮影中、画面に“ WAIT ”の表示が出ている間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。画面に“ WAIT ”が表示されている間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。

手ブレについて

撮影の際、【シャッター】ボタンを押す瞬間に手元が動いてしまうと、手ブレを起こし、撮影された画像が乱れている場合があります。手ブレを防ぐには、以下のようなことにご注意ください。

- 液晶画面上で、被写体の位置が大きく移動しないように気をつけてください。

室内（蛍光燈照明）での撮影について

蛍光燈照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光燈のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

屋外での撮影について

強い光、またはその反射光を撮影すると、縦に帯状の線が出ることがあります。これは、受光部の特性によるもので、カメラの故障ではありません。

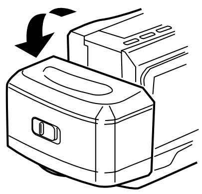
ストロボについて

ストロボを自動発光にしておきますと、暗い所で撮影するときに自動でストロボが発光します（48ページの「ストロボ撮影について」を参照してください）。

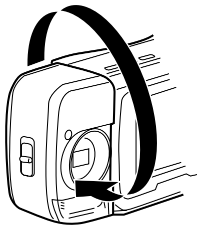
ストロボの充電中は液晶画面が消え、【チャージランプ】が点滅します。

レンズ部の回転について

本機のレンズ部は回転する構造になっており、本体を傾けることなく自由なアングルで被写体を捉えることができます。

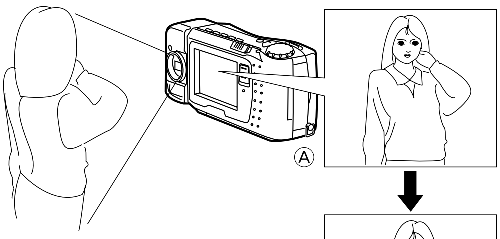


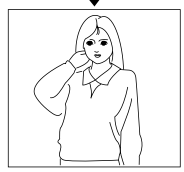
奥の方向には９０°まで倒すことができます



手前方向には１８０°回転します

- レンズ部を手前に回転させた場合は、液晶画面に表示される画像は反転し鏡像（左右が逆の画像）となります。この状態で撮影を行なった場合、再生した画像は正像に戻ります。





Ⓐ……撮影中に表示される画像

Ⓑ……撮影後に再生したときの画像



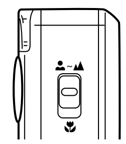
- レンズ部は、回転範囲を越えて無理に回そうとしないでください。無理な力を加えると、レンズ部が折れるなど破損するおそれがあります。
- レンズ部のみを持って持ち運んだり、ふり回したりしないでください。
- 本機の保管時は、レンズ部は元の状態（レンズを液晶画面の反対側に向け、本体に対して傾きのない状態）に戻しておいてください。

標準／接写の切り替え

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準／接写の切り替えができます。

標準／接写の切り替えには、【 ~ ／ 】を使います。 ~ （標準）、 （接写）それぞれの位置での撮影に適した距離は以下の通りです。

＊接写のときは、液晶画面に[ ]が表示されます。



	標準撮影	接写撮影
切替スイッチ	~	
撮影可能距離	0.7m〜∞	14cm〜16cm

撮影可能距離はレンズ前面のプロテクタから被写体までの距離です。

画質モードの切り替え

本機は、撮影に応じて、高精細画質“F”／標準画質“N”／エコノミー画質“E”の切り替えができます。高精細画質“F”／標準画質“N”／エコノミー画質“E”の切り替えには、【F▸N▸E】ボタンを使います。［高精細画質“F”］、［標準画質“N”］、［エコノミー画質“E”］それぞれの保存枚数は以下の通りです。

高精細画質“F”	14枚以上（約133KB圧縮画像）
標準画質“N”	26枚以上（約70KB圧縮画像）
エコノミー画質“E”	47枚以上（約38KB圧縮画像）

付属の２MBメモリーカードを使用時

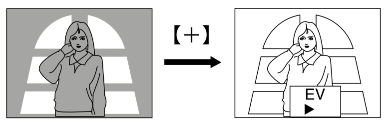
＊撮影枚数は、撮影した画像によって圧縮率が変化するため一定ではありません。

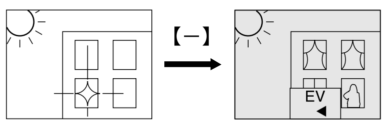
＊容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

露出補正について

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行なっています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影や、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押すと露出補正（EVシフト）され、画面にバーグラフが表示されます。**
   - 【＋】ボタンを押すと液晶画面が明るくなるので、室内などの暗い所や逆光での撮影時に適します。【－】ボタンを押すと液晶画面が暗くなり、晴天の屋外などでの撮影に適します。





＊ 補正値の限界になるとバーグラフが赤の表示になります。

3. **適当な明るさになったら、【シャッター】ボタンを押してください。**

参考

- 電源を入れた時点では、露出補正値は０になっています。
- 露出補正値は、【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押すごとに、0.5EV刻みで変化し、-2EV〜+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は、【シャッター】ボタンを押すごとにリセットされて０に戻ります。【シャッター】ボタンを押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、バーグラフ表示を消します。

重要！

露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では (-2EV〜+2EV)の範囲で変化できない場合があります。

自動絞り切り替えについて

本機の絞りは、撮影時の明るさに応じて自動的に切り替わります。切り替わるときに作動音がしますが異常ではありません。

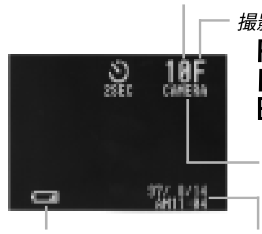
撮影画面情報表示

撮影可能枚数と、撮影画質モードや、日付と時間を表示させることができます。

＊ 撮影枚数は目安であり、実際には異なることがあります。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【DISP】ボタンを押します。**

   ＊ 1回押すごとにページ残量表示、日付と時間表示、ページ残量／日付と時間表示に変わります。



バッテリー残量表示について

本機の電池が消耗すると本機の画面左下にバッテリー警告 “ ▭ ” が表示されます。

これは、そのまま使用すると電池が切れてしまうまでの時間が近いことを示しています。交換の際は4本とも新しい電池と交換してください。

パソコンリンクソフトを用いて本機のデジタル端子で通信を行なう場合は、通信時の異常を防止するため、通信以外での使用時よりも早めに電源が切れるように設定されております。

デジタル端子を使用した通信の際には、別売のACアダプターを使用することをおすすめします。

- 電池交換のしかたについては、29ページを参照してください。

ページ残量表示について

撮影を続けていると “ REMAINING ” と表示されます。これは、現在の画質モードでは撮影できる枚数がなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。このとき、【F▸N▸E】ボタンを押すと、画面に表示されているモードの数字の枚数分撮影を続けることができます。

“ MEMORY FULL ” と表示された場合は、削除または、画像変換機能を使い高精細画質の画像を標準画質の画像に、標準画質の画像をエコノミー画質の画像に変換する操作を行なわないと、これ以上撮影したり、フィルター機能、タイトル合成機能を使用することはできません。

削除については82ページ、画像変換の操作については88ページを参照してください。

＊ 撮影枚数は目安であり、実際には異なることがあります。

ストロボ撮影について

ストロボを使った撮影ができます。

ストロボモードを変更する

1. **【🔒／⚡】ボタンを押します。**
   - 【🔒／⚡】ボタンを押すごとに、自動発光 → 強制発光 → 発光禁止の順番で切り替わります。

なし	自動発光	露出に合わせて自動的に発光します。
⚡	強制発光	露出に関係なく強制的に発光します。
⚡̸	発光禁止	露出に関係なく発光しません。

重要！

- ストロボの発光部やセンサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。
- ストロボによる撮影距離は約0.7m〜約3mの範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ストロボの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒〜10秒程度かかります。
- 連写撮影モードになっているときは、ストロボは発光しません。このとき⚡̸マークが点滅します。
- 電池が弱ってくるとストロボの充電ができなくなることがあります。このとき⚡̸マークが赤く点滅します。
  ストロボは正常に発光せず適性な露出が得られなくなります。速やかに新しい電池と交換してください。

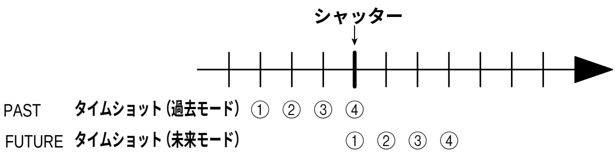
連写撮影について

連写の種類には、以下の3通りの方法があります。

CONT.S 「押し続け連写」
シャッターボタンを押し続けている間、撮影することができます。(約1秒間隔)

PAST 「タイムショット(過去モード)」
シャッターボタンを押したときの前(過去)の画像を3枚＋シャッターを押した瞬間の1枚を撮影します。

FUTURE 「タイムショット(未来モード)」
シャッターを押してから約0.05秒間隔で４枚撮影します。



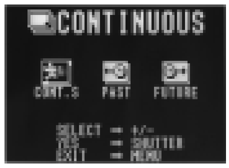
PASTタイムショット（過去モード）、FUTUREタイムショット（未来モード）とも撮影直後に表示される画像は３番目の画像③になります。

重要！
- 連写撮影中はストロボの発光はしません。
- メモリーカードの残量によっては、４枚撮影できないことがあります。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を (連写撮影) に合わせます。**
ここで【シャッター】ボタンを押すと、前回撮影した内容で撮影できます。

3. **【MENU】ボタンを押します。**
→ *“ CONTINUOUS ” メニューが表示されます。*



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで連写の種類を選び【シャッター】ボタンを押します。**

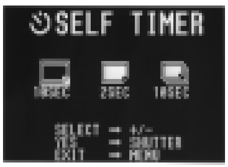
5. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】ボタンを押します。**
＊ 連写撮影する場合は、【シャッター】ボタンを押し続けます。

セルフタイマー撮影について

撮影方法には、以下の３つがあります。
- 10秒後に１枚撮影（撮影者が写るときに使用します。）
- ２秒後に１枚撮影（【シャッター】ボタンを押すときの手ブレを防ぐことができます。）
- 10秒後に４枚連写します（４枚の内のベストショットを選びます。）

重要！
４枚連写のセルフタイマー撮影中はストロボの発光はしません。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**
2. **【撮影ダイヤル】を (セルフタイマー撮影)に合わせます。**
ここで【シャッター】ボタンを押すと、前回撮影した内容で撮影できます。
3. **【MENU】ボタンを押します。**
→ *“ SELF TIMER ” メニューが表示されます。*



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで撮影の種類を選び【シャッター】ボタンを押します。**
   - 本機を三脚や机の上などにしっかりと固定し、液晶画面を見ながら被写体にフレームを合わせます。
   - 撮影するフレームが決まったら、【シャッター】ボタンを押します。

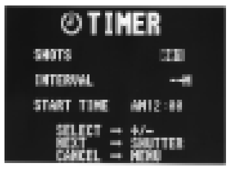
＊ カウントダウン表示中は、【シャッター】ボタンを押すことで、セルフタイマー撮影を解除することができます。

参考
セルフタイマー撮影時は、レンズ部を１８０゜回転させて、レンズと液晶画面を同じ側にしておくと、セルフタイマーのカウントダウン表示を見ながら撮影されるのを待つことができます。途中で撮影をキャンセルしたくなった場合などにも、あと何秒で撮影されるかがわかり、便利です。

タイマー撮影について

撮影方法には、以下の3つがあります。
- 現時点からの一定間隔の繰り返し撮影（インターバル撮影をします。）
- 設定した時間に1枚撮影（タイマー撮影をします。）
- 設定した時間から一定間隔で撮影（インターバルタイマー撮影をします。）

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**
2. **【撮影ダイヤル】を (タイマー撮影)に合わせます。**
ここで【シャッター】ボタンを押すと、前回撮影した内容で撮影できます。
3. **【MENU】ボタンを押します。**
→ *“ TIMER ” メニューが表示されます。*



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでSHOTS（撮影枚数）を設定して【シャッター】ボタンを押します。**
＊ １枚に設定すると手順６に進みます。
5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでINTERVAL（撮影間隔）を設定して【シャッター】ボタンを押します。**
＊ 1分〜60分まで1分単位で設定できます。
6. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでSTART TIME（開始時間）を設定して【シャッター】ボタンを押します。**
＊ 開始時間の設定は、現在から24時間の設定です。

7. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで分を設定して【シャッター】ボタンを押します。**

8. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *設定時間になると【チャージランプ】が点灯し撮影が開始されます。*

露出補正を行なった場合（44ページ）

補正された露出値は最初の一枚のみに有効です。
２枚目以降では自動的に初期値（０）に戻ります。

タイマー撮影中に電源を入れた場合

タイマー撮影中に電源を入れると、次の画面が表示され、タイマー撮影はキャンセルされます。



パノラマ撮影について

パソコン上で複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。

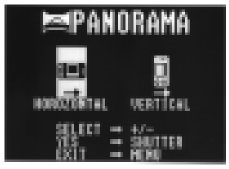
1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［パノラマ］（パノラマ撮影）に合わせます。**

   ここで【シャッター】ボタンを押すと、前回撮影した内容で撮影できます。

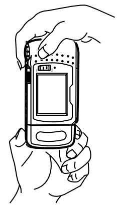
3. **【MENU】ボタンを押します。**

   → *“ PANORAMA ” メニューが表示されます。*



4. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“ HORIZONTAL ”または“ VIRTICAL ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   “ VIRTICAL ”を選んだときは、本機を縦にして撮影します。



5. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *前回撮影した画像が残像になって表示されます。それに合わせて撮影してください。*

マニュアル撮影について

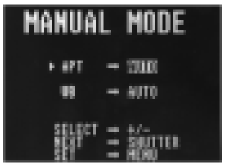
絞り、ホワイトバランスをマニュアル設定することができます。
好みや撮影状況によって設定を変更してください。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［通常］（通常撮影）に合わせます。**

3. **【MENU】ボタンを押します。**

   → *“ MANUAL MODE ” メニューが表示されます。*



APT　絞り優先
AUTO、F2、F8の切り替えができます。F8にすると、撮影可能範囲が広くなります。

WB　ホワイトバランス固定
AUTO、WB1、WB2、WB3の切り替えができます。
WB1 ····室内白熱灯使用時を推奨
WB2 ····室内蛍光灯使用時を推奨
WB3 ····屋外での撮影時を推奨
※各種光源（ライト）の種類や撮影環境により、上記のようにならない場合があります。

参考

ホワイトバランスとは、被写体を自然の色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することをいいます。

4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで絞りを選び【シャッター】ボタンを押します。**

5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでホワイトバランスを選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *電源をOFFにしないかぎり、設定内容は変わりません。*

6. **設定が終了したら【MENU】ボタンを押します。**

   • 画面の左上に “ M ” と表示されます。

7. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *普通の撮影に戻すときは、電源をOFFにしてください。*

撮影した内容を見る

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

撮影した内容を本体だけで見る

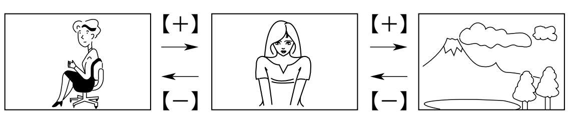
本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。以下の操作手順にしたがってください。

1. **電源を入れ、再生モードを選びます。**

   • 【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。
   ＊ *[PLAY]は撮影した内容を見るときの位置（再生モード）、[REC]は撮影するときの位置（撮影モード）です。*

2. **撮影済みの内容を順次送ってみましょう。**

   • 【+】ボタンを押します。１回押すたびに、１枚目→２枚目→３枚目．．．と順次送ることができます。
   • 逆に、【−】ボタンを押すと順次前に戻すことができます。
   • 【シャッター】ボタンと【−】ボタンを同時に押すと先頭ページに移動することができます。
   • 【+】ボタンまたは【−】ボタンを押し続けるとページを早く送ることができます。



参考

撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。

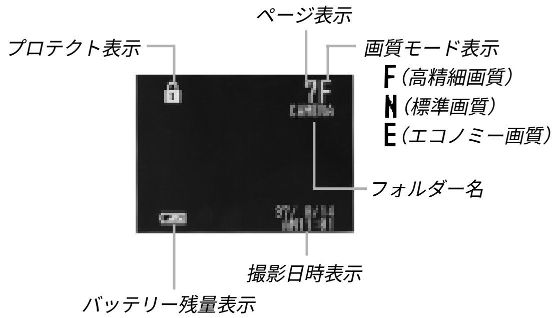
再生画面情報表示

再生モードでは、現在表示している画像データの情報を画面に表示させることができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

2. **【DISP】ボタンを押します。**

   ＊ *１回押すごとにページ表示、撮影日時表示、ページ／撮影日時表示に変わります。*



参考

- “ ” このマークは、そのページが「メモリープロテクト」（削除防止）されていることを示します（77ページ）。
- 再生モードでの「再生画面情報表示」の状態は、撮影モードでの「撮影画面情報表示」（46ページ）およびクローズアップ表示時の「範囲表示」（62ページ）に連動します。

マルチ画面表示

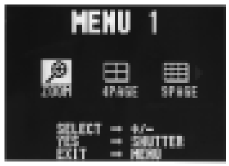
画像を、４枚または９枚同時に一覧表示させることができます。

大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

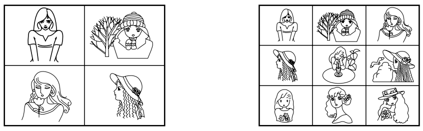
2. **【MENU】ボタンを押します。**

   → “４PAGE”／“９PAGE　”は「MENU 1」にあります。



3. **【＋】ボタンまたは【−】ボタンで“4PAGE”または“9PAGE”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *４画面表示、９画面表示は、最初に表示していた画像を先頭として４画面、９画面がそれぞれ表示されます。*



4. **４画面表示、９画面表示でも、画像の送り／戻しができます。**

   - 【＋】ボタンまたは【−】ボタンを押すごとに、４画面表示の場合は４画面ずつ、９画面表示の場合は９画面ずつの送り／戻しができます。

1	2
3	4

【＋】→　←【−】

5	6
7	8

【＋】→　←【−】

9	10
11	1

5. **マルチ画面表示を終了するには、【＋】／【−】／【DISP】以外のボタンを押します。**

参考

マルチ画面表示中、本機の液晶画面や、本機と接続したテレビの画面表示の明るさが、１画面だけで表示した場合とは若干異なる場合があります。これは、AGC（画面の明るさを、表示内容によって自動的に調節するしくみ）のはたらきによるもので、画面の明るさがマルチ画面の中の最も明るい画面に合わせられるためです。

マルチ画面表示から１画像を選んで表示する

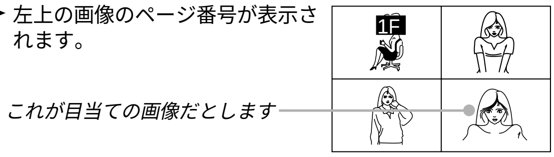
マルチ画面表示を使うと、すばやく目当ての画像を探して１画面表示させることもできます。以下の手順は、４画面表示での例です。

1. **マルチ画面表示に切り替えます。**

   - ４画面表示を指定します。

2. **【DISP】ボタンを押します。**

   → 左上の画像のページ番号が表示されます。



3. **【＋】ボタンまたは【−】ボタンでページ番号表示を移動させ目当ての画像を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   → 目当ての画像が１画面表示されます。



参考

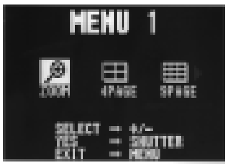
９画面表示の場合でも、操作手順は上記と同様です。

9ゾーンクローズアップ機能

画像を、部分的に2倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

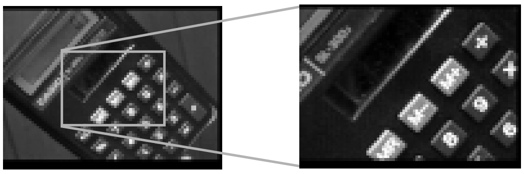
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【MENU】ボタンを押します。**

   →"ZOOM"は「MENU 1」にあります。



3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで"ZOOM"を選び【シャッター】ボタンを押します。**

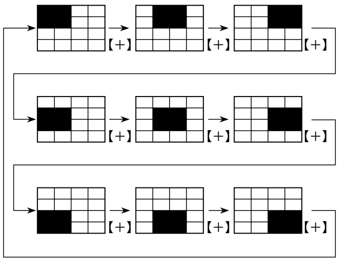
   →画面の中央部が2倍に拡大されて表示されます。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押します。**

   押すごとに、拡大範囲が次ページの図のように移動します。
5. **クローズアップ表示を終了するには、【+】/【−】/【DISP】以外のボタンを押します。**

拡大範囲の移動のしかた



- 【−】ボタンを押した場合は、この逆の動きになります。

参考

- 再生画面情報の表示中（57ページ）に拡大表示を行なうと、現在画面上のどの位置が拡大されているかを画面右上端に"▣"で表示します（これを「範囲表示」といいます）。拡大表示中でも、【DISP】ボタンを押すことで、範囲表示の表示/非表示を切り替えることができます。
- 「範囲表示」の表示/非表示の状態は、再生モードでの「再生画面情報表示」（57ページ）、および撮影モードでの「撮影画面情報表示」（46ページ）に連動します。

撮影した画像にタイトルを付ける

本機でタイトルを撮影後、画像にタイトルを合成することができます。タイトルに使う文字を紙などに書いておいてください。

タイトルを撮影する

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**
2. **【ダイヤルキー】を▭(タイトル撮影)に合わせます。**
   - 撮影するタイトルにフレームを合わせます。

   ＊【+】ボタンまたは【−】ボタンで露出を補正することができます（44ページの「露出補正について」を参照してください）。



3. **【シャッター】ボタンを押します。**
4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して明るさを調整（±30段階まで）します。**



5. **【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊手順4で調整した明るさでタイトルが保存されます。

重要！

タイトルを撮影すると、前回撮影したタイトルは消去されます。

参考

タイトルを撮影するときは線の内側に合わせます。

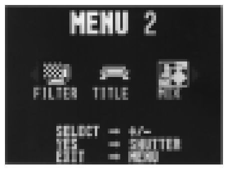
タイトルを画像に合成する

重要！

- "MEMORY FULL"状態では実行できません。
- 回転させた画像に対しては実行できません（66ページ）。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押してタイトルを合成する画像を表示させます。**
3. **【MENU】ボタンを押します。**

   →"TITLE"は「MENU 2」にあります。

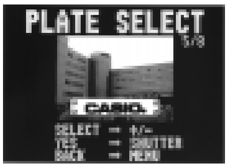


4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで"TITLE"を選び【シャッター】ボタンを押します。**
5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでタイトルの色を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊【+】ボタンを押すごとに、タイトルの色が20種類（【−】ボタンは逆）切り替わります。



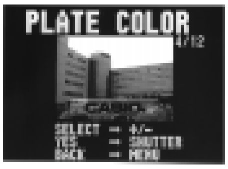
6. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでタイトルのプレートを選び【シャッター】ボタンを押します。**



＊【+】ボタンを押すごとに、プレートが変更されます。プレートの種類は８つあります。

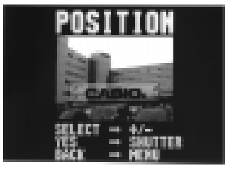
＊「プレートなし」を選択したときは手順８に進みます。

7. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでプレートの色を選び【シャッター】ボタンを押します。**



＊【+】ボタンを押すごとに、プレートの色が12種類（【−】ボタンは逆）切り替わります。

8. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでタイトルの位置を選び【シャッター】ボタンを押します。**



＊【+】ボタンを押すごとに、タイトルの位置が５段階（【−】ボタンは逆）で移動します。

＊タイトルが合成された画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

＊合成された画像の日付は、元の画像のままになります。

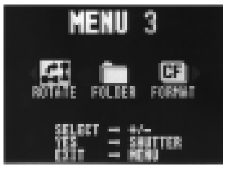
撮影した画像を回転する

撮影した画像を90 °ずつ回転させることができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**

2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して回転させる画像を表示させます。**

3. **【MENU】ボタンを押します。**



→ “ ROTATE ” は「MENU 3」にあります。

4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ ROTATE ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで回転する角度を選びます。**



＊ 0 °、180 °を選択したときは手順７に進みます。

6. **背景の色を指定します。**



- 90 °、270 ° の場合は【MENU】ボタンを押して背景の色を選択することができます。

＊【+】ボタンを押すごとに、背景の色が10種類切り替わります。

7. **【シャッター】ボタンを押します。**

重要！

回転した画像は、表示する際に回転処理を行なっているだけです。画像データとしては、元のデータのままなので、パソコンなどに取り込んだ場合や、QVプリンターで出力した場合は回転されていない状態で出力されます。

フィルターをかける

画像を、白黒やセピア色に変更することができます。

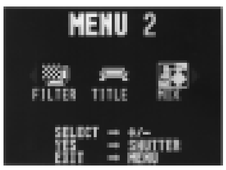
重要！

- “ MEMORY FULL ” 状態では実行できません。
- 回転させた画像に対しては実行できません（66ページ）。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**

2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押してフィルターをかける画像を表示させます。**

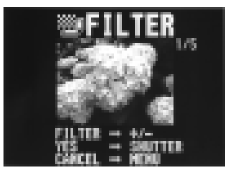
3. **【MENU】ボタンを押します。**



→ “ FILTER ” は「MENU 2」にあります。

4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ FILTER ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでフィルターの種類を選び【シャッター】ボタンを押します。**



＊【+】ボタンまたは【−】ボタンを押すごとに５種類のフィルター効果が切り替わります。

＊フィルター効果のかかった画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

画像を合成する

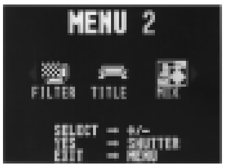
画像に別の画像を合成することができます。

重要！

- “ MEMORY FULL ” 状態では実行できません。
- 回転させた画像に対しては実行できません（66ページ）。

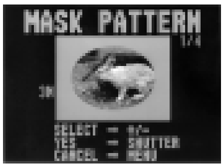
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して合成する画像を表示させます。**
3. **【MENU】ボタンを押します。**

→ “ MIX ” は「MENU 2」にあります。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで “ MIX ” を選び【シャッター】ボタンを押します。**

→ *“ MASK PATTERN ” メニューが表示されます。*



5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで使用する枠を選び【シャッター】ボタンを押します。**

＊ *枠は４種類選ぶことができます。*

6. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで画像の位置を微調整して【シャッター】ボタンを押します。**

＊ *左右を調整後、上下を調整します。*

7. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで背景に使用する画像を選び【シャッター】ボタンを押します。**

＊ *縦楕円と小丸を選んだときは手順８に進みます。*

8. **【+】ボタンまたは【−】ボタンではりつける位置を選び【シャッター】ボタンを押します。**

オートプレイ機能

フォルダー内の画像を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを設定することができます。

重要！

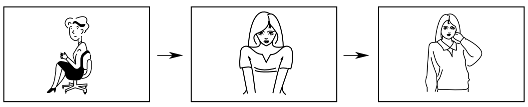
オートプレイ中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、31ページを参照）が働きません。このため、乾電池で本機を使用しているときにオートプレイをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。オートプレイで撮影した内容を見た後は、必ずオートプレイを終了して、電源を切るようにしてください。

オートプレイを開始するには

オートプレイを開始するには、以下の手順に従ってください。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【+】ボタンと【−】ボタンを同時に押します。**

＊ *“ AUTO PLAY START ” の画面が出るまで押し続けてください。画面が出たら指をボタンから離してください。*



１秒後　*１秒後．．．．*

→ 最後の画像まで行くと、再び最初の画像からオートプレイが繰り返されます。

3. **オートプレイを終了するには、【シャッター】ボタンを押します。**

＊ *このとき、【MENU】ボタン以外のどのボタンを押しても、オートプレイを終了することができます。*

＊ *画像の移動中はボタンが効かなくなります。画像の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。*

オートプレイの設定

以下の操作で、ページめくりの間かく（１〜３０秒）の設定を行なうことができます。

1. **「オートプレイを開始するには」（71ページ参照）の手順１、２に従って、まずオートプレイを開始します。**
2. **【MENU】ボタンを押します。**

＊ *画像の静止中に押してください。*

→ ここからは、オートプレイの指定モードに入ります。

→ ページめくりの間かくを設定する画面が表示されます。



現在設定されているページめくりの間かく（秒）がここに表示されています。

3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンでページめくりの間かくを選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *ページめくりの間かくは、１秒から３０秒までの間で１秒間かくで指定できます。*

   ＊ *ページめくりの間かくの設定時間は、画像が画面に表示されてからの時間で、ページ送り中の時間は含まれていません。*

   ＊ *指定したページめくりの間かくでオートプレイを開始します。*

   • もし、オートプレイの設定モードから抜けたい場合は、一度【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)にして再度[PLAY](再生)に戻すか、電源を切ってください。ここでオートプレイの指定モードから抜けた場合は、設定は指定モードに入る前の状態に戻ります。

参考

• マルチ画面表示、クローズアップ表示でのオートプレイも行なうことができます。マルチ画面表示やクローズアップ表示に切り替えてから、オートプレイの操作（71ページ参照）を行なってください。
• 各表示方法でオートプレイを行なうときは、表示される画像（非表示を除く画像）が以下の枚数以上であることが必要です。

通常表示時 ……………………2枚
４画面マルチ表示時 …………5枚
９画面マルチ表示時 …………10枚
クローズアップ表示時 ………1枚

フォルダー分類

フォルダーを使うと「仕事」「プライベート用」など、画像を分類して記録させることができます。

＊ *6種類のフォルダーがあります。*
これ以後撮影した画像は、選んだフォルダー内に記録されます。

重要！

１フォルダーに画像を250枚まで保存できます。

フォルダーを選択する

● **【FOLDER】ボタンでの切り替え**

1. **【FOLDER】ボタンを１回押すごとにフォルダーが順次切り替わります。**

   ＊ *［REC］(撮影）で切り替えた場合は、選んだフォルダーに画像が保存されます。*

● **【MENU】ボタンでの切り替え**

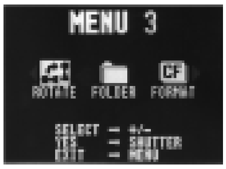
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

   ＊ *【FOLDER】ボタンを押して変更することもできます。*

2. **【MENU】ボタンを押します。**

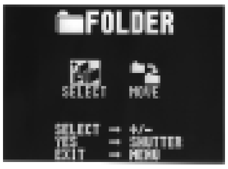
   → “FOLDER”は「MENU 3」にあります。

   ＊ *メモリーカード内に画像がない場合は「MENU」表示になります。*

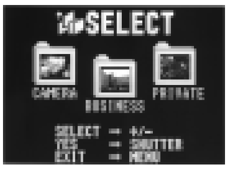


3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“FOLDER”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ *“FOLDER”メニューが表示されます。*



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“SELECT”を選び【シャッター】ボタンを押します。**



5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで使用するフォルダーを選び【シャッター】ボタンを押します。**

フォルダーの画像を別のフォルダーに移動する

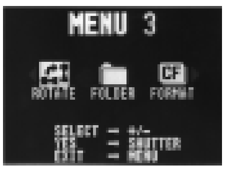
重要！

最初に移動したい画像のあるフォルダーに合わせておいてください（74ページ）。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

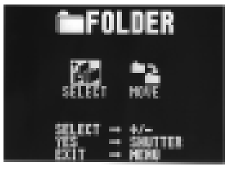
2. **【MENU】ボタンを押します。**

   →“FOLDER”は「MENU 3」にあります。

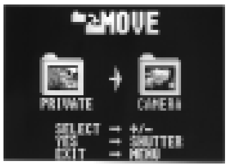


3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“FOLDER”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

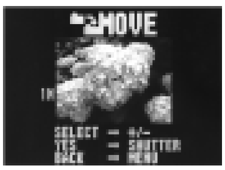
   →“FOLDER”メニューが表示されます。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“MOVE”を選び【シャッター】ボタンを押します。**



5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで移動先のフォルダーを選び【シャッター】ボタンを押します。**



6. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで移動する画像を選び【シャッター】ボタンを押します。**

7. **移動する作業を繰り返す場合は、6の操作を繰り返します。**

   ＊ *操作を終了する場合は、【MENU】ボタンを２回押します。*

メモリープロテクト機能

必要なページを誤って削除してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（削除防止）機能が付いています。

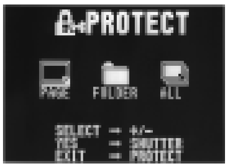
＊メモリープロテクトのかけ方には、画像単位と、フォルダー単位、全画像一括設定の3つの方法があります。

※非表示モード中は、メモリープロテクトの登録／解除はできません。

１画像単位でメモリープロテクトをかけるには

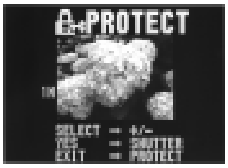
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【🔒／⚡】ボタンを押します。**

   → １画像単位“ PAGE ”か、フォルダー単位“ FOLDER ”、全画像“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ PAGE ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   → “ PROTECT ”メニュー画面が表示されます。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押してメモリープロテクトをかける画面を表示させます。**
5. **【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 指定した画像の左側に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます。

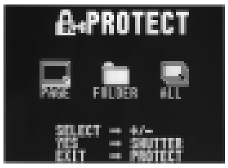
6. **このまま続けてメモリープロテクトを行ないたい場合は、手順4〜手順5を繰り返してください。**

   ＊ 設定画面から抜ける場合は、【🔒／⚡】ボタンを押すか、20秒間何も操作しないと元の画面に戻ります。

フォルダー単位、または全画像にメモリープロテクトをかけるには

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【🔒／⚡】ボタンを押します。**

   → １画像単位“ PAGE ”か、フォルダー単位“ FOLDER ”、全画像“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ FOLDER ”または“ ALL ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   → “ PROTECT ALL ? ”メニュー画面が表示されます。

   ＊“ FOLDER ”を選んだ場合は、【+】ボタンまたは【−】ボタンでメモリープロテクトをかけるフォルダーを選び、【シャッター】ボタンを押します。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ ALL ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 「再生画面情報表示」にすると、すべての画像の左上に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます。

メモリープロテクトを解除するには

＊ メモリープロテクトの解除のしかたには、１画像単位と、フォルダー単位、全画像一括解除の3つの方法があります。

１画像単位でメモリープロテクトを解除するには

1. **【🔒／⚡】ボタンを押します。**

   ＊ １画像単位“ PAGE ”か、フォルダー単位“ FOLDER ”、全画像“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。

2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ PAGE ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**
   - “ PROTECT PAGE ”メニュー画面が表示されます。
3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して、メモリープロテクトを解除する画面を表示させます。**
4. **【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 指定した画像の左側の鍵マーク“ 🔒 ”が消えます。

5. **このまま続けてメモリープロテクトを解除したい場合は、手順3〜手順4を繰り返してください。**

   ＊ 画面を解除する場合は、【🔒／⚡】ボタンを押すか、20秒間何も操作しないと元の画面に戻ります。

フォルダー単位、または全画像のメモリープロテクトを解除するには

1. **【🔒／⚡】ボタンを押します。**

   ＊ １画像単位“ PAGE ”か、フォルダー単位“ FOLDER ”、全画像“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。

2. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ FOLDER ”または“ ALL ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**
   - “ PROTECT ALL ? ”の画面が表示されます。

   ＊“ FORDER ”を選んだ場合は、【+】ボタンまたは【−】ボタンでメモリープロテクトを解除するフォルダーを選び、【シャッター】ボタンを押します。

3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“ CANCEL ”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 「再生画面情報表示」にすると、すべての画像の左上の鍵マーク“ 🔒 ”が消えます。

メモリープロテクト画像を非表示にするには

再生時にメモリープロテクトがかかった画像を表示させない状態にすることができます。

1. **【+】ボタンを押しながら電源を入れます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。

重要！

非表示モードでは、メモリープロテクトをかけることはできません。

非表示を解除するには

1. **【−】ボタンを押しながら電源を入れます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。

いらない画像を削除する

重要！

一度削除してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。削除の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像削除の操作では、撮影した全ての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

＊メモリープロテクトのかかった画像は削除できません。79ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

１画像ずつ削除する

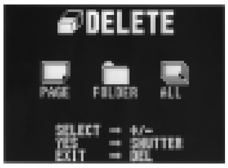
削除する画像を１画像ずつ確認しながら削除する方法です。

重要！

最初に削除する画像のあるフォルダーに合わせておいてください。（74ページ）

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**
2. **【DEL】ボタンを押します。**

→ １画像単位“PAGE”か、フォルダー単位“FOLDER”、全画像“ALL”かを設定する画面が表示されます。



3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで“PAGE”を選び【シャッター】ボタンを押します。**

→ “DELETE PAGE?”メニュー画面が表示されます。



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して削除したい画像を表示させます。**

   ＊ このときプロテクト設定されている画像は表示されません。

5. **現在表示されている画像が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。**

   ＊ もし、削除せずに元の画面に戻るには、【+】/【−】/【シャッター】以外のボタンを押します。

6. **削除するには、【シャッター】ボタンを押します。**

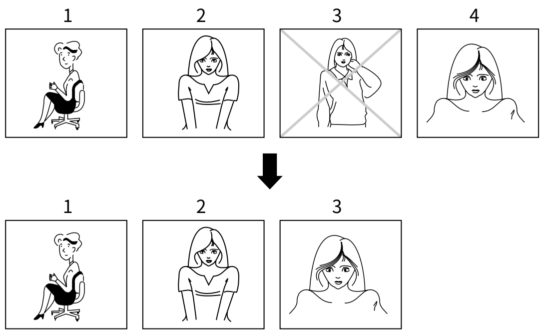
   ＊ 画面に表示されていた画像が削除され、続けて次の画像削除ができる状態になります。

7. **このまま続けてページ削除を行ないたい場合は、手順4〜手順6を繰り返してください。**

   ＊ 削除の操作を終了したい場合は、【+】/【−】/【シャッター】以外のボタンを押します。

参考

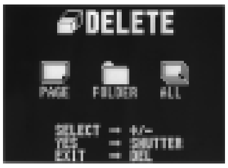
１画像削除を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。



フォルダー内の画像を一度に削除する

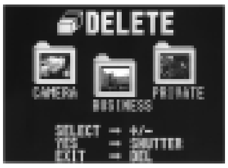
フォルダー分類ごとに削除する方法です。この方法で削除を行なっても、フォルダー内でメモリープロテクト（77ページ）をかけた画像だけは削除されません。

1. **【ファンクションスイッチ】を**[PLAY]**（再生）の位置に合わせます。**
2. **【**DEL**】ボタンを押します。**

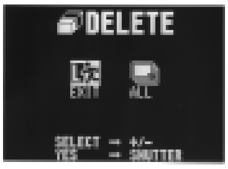


→ 1画像単位 “ PAGE ” か、フォルダー単位 “ FOLDER ”、全画像単位 “ ALL ” かを設定する画面が表示されます。

3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで “** FOLDER **” を選び【シャッター】ボタンを押します。**



4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで削除するフォルダーを選び【シャッター】ボタンを押します。**



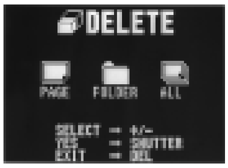
＊操作を中止したい場合は【DEL】ボタンを押します。

5. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで “** ALL **” を選び【シャッター】ボタンを押します。**

すべての画像を一度に削除する

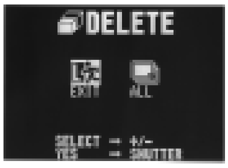
画像のすべてを一度に削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト（77ページ）をかけた画像だけは削除されません。

1. **【ファンクションスイッチ】を**[PLAY]**(再生)の位置に合わせます。**
2. **【**DEL**】ボタンを押します。**



→ １画像単位 “ PAGE ” か、フォルダー単位 “ FOLDER ”、全画像 “ ALL ” かを設定する画面が表示されます。

3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで “** ALL **” を選び【シャッター】ボタンを押します。**



＊ 操作を中止したい場合は【DEL】ボタンを押します。

重要！

次の操作を行なうと、画像のすべてが削除されます。すべて削除してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで “ EXIT ” を選んで一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

4. **【+】ボタンまたは【−】ボタンで “** ALL **” を選び【シャッター】ボタンを押します。**

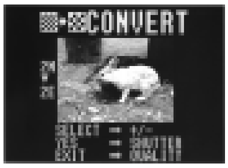
＊ すべてのページが削除され、画面に “ NO IMAGE ” と表示されます。

画像変換機能

高精細画質で撮影した画像を標準画質に、標準画質の画像をエコノミー画質の画像に変換することができます。

＊変換後、元の画像は削除されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を**[PLAY]**(再生)の位置に合わせます。**
2. **【F ▸ N ▸ E】ボタンを押します。**



→ 画像を変換する画面が表示されます。

＊ このとき、プロテクト設定されている画像は表示されません。

＊ 変換可能な画像がない場合は、通常の画面に戻ります。

3. **【+】ボタンまたは【−】ボタンを使って変換する画像を表示させます。**
4. **【シャッター】ボタンを押します。**

＊ 画像の変換を開始します。

5. **このまま続けて画像変換を行ないたい場合は、手順３〜手順４を繰り返してください。**

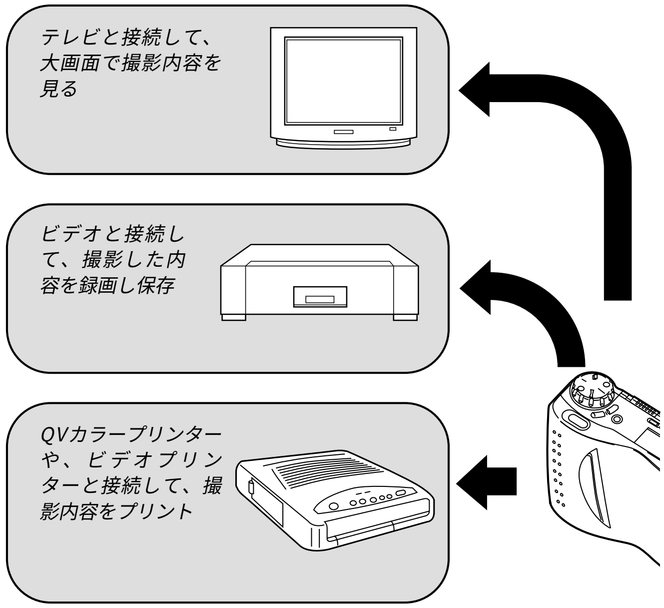
＊ 画像変換の操作を終了したい場合は、【+】／【−】／【シャッター】以外のボタンを押してください。

さまざまな機器との接続

ここでは、本機とさまざまな外部機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）を接続して使うときの接続のしかた、および使いかたについて説明します。また、接続に際しての注意点なども、あわせて説明します。

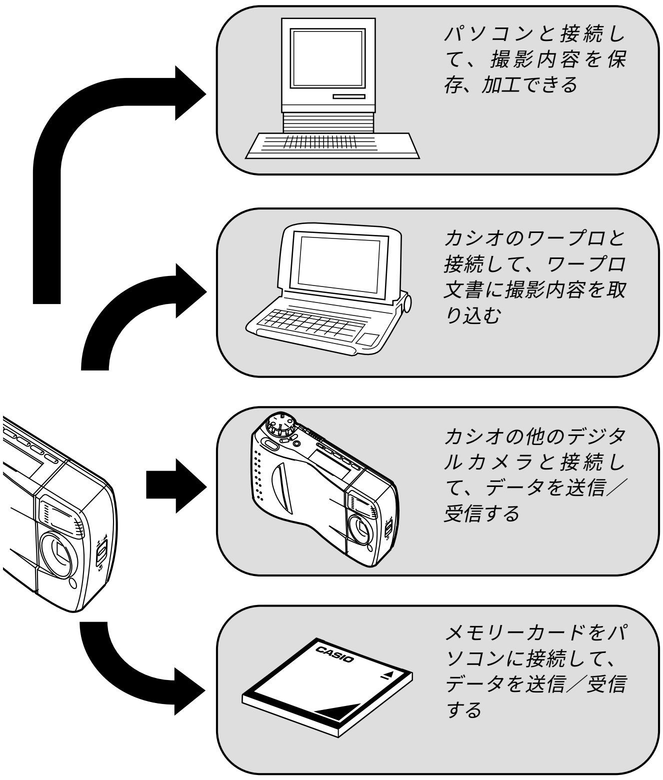
接続の概略

本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の２つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。



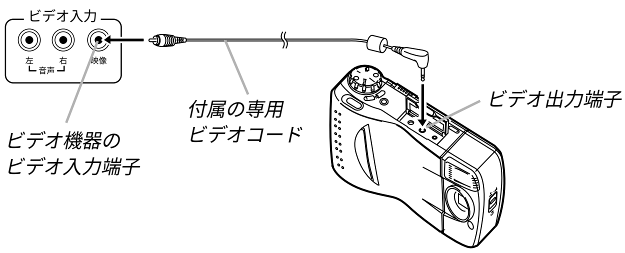
重要！

テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。

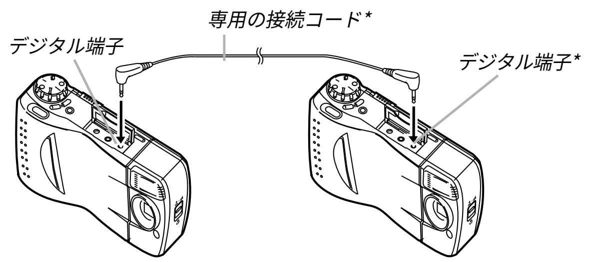


接続に使う端子について

ビデオ出力端子 ー ビデオ入力端子付きのテレビ、ビデオデッキ、ビデオプリンターなどと接続できます。接続には、本機に付属の専用ビデオコードを使います。



デジタル端子 ー パソコンやカシオのワープロ、QVカラープリンター、デジタルカメラと接続する端子です。パソコンとの接続には、別売品のパソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが必要です。下図はデジタルカメラとの接続例です。



* 専用の接続コード、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。接続相手に応じた説明をご参照ください（93〜101ページ）。

接続のしかたと操作

さまざまな機器と本機の接続のしかた、実際に接続できる機種などについて説明します。なお、以下の説明で、VIDEO はビデオ端子と接続する場合、DIGITAL はデジタル端子と接続する場合を示します。

重要！

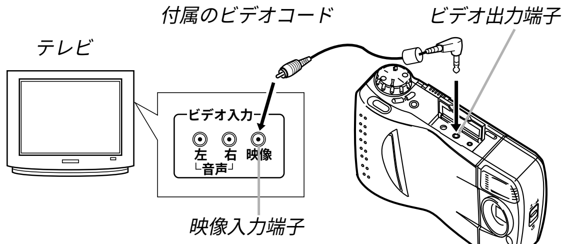
- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書もご参照ください。

テレビとの接続 VIDEO

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、本機に付属の専用ビデオコードを使って本機とテレビを接続します。以下の図のように接続を行なってください。

重要！

- テレビを本機と接続するには、テレビ側が以下のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- 接続は、必ず本機とテレビの電源を切った状態で行なってください。



接続したら、テレビ側のチャンネルを、「ビデオ入力」にセットしてください。

接続後の操作手順は、「撮影した内容を本体だけで見る」の手順とまったく同じです。56ページを参照してください。

重要！

本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。

ビデオデッキとの接続 VIDEO

ビデオデッキと接続すると、本機で撮影した内容をビデオに録画することができます。本機のビデオ出力端子とビデオデッキのビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- ビデオデッキは、ビデオ入力からの映像を録画できるようにセットします。ビデオに付属の取扱説明書をご参照ください。
- 接続とビデオのセットが済んだら、本機側で再生の操作（56ページ）を、ビデオ側で録画の操作を行なってください。本機の再生にはオートプレイ（71ページ）を使うことをお勧めします。一定間かくでページめくりが自動的に行なわれるので録画には便利です。
- 再生画面情報表示（57ページ）を出した状態で録画を行なうと、ページ表示などがそのまま録画されますのでご注意ください。
- バッテリー警告表示（31ページ）が表示された状態で録画を行なうと、その表示もそのまま録画されますのでご注意ください。

ビデオプリンターとの接続 VIDEO

ビデオプリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。本機のビデオ出力端子とビデオプリンターのビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- 接続が済んだら、本機側で再生の操作（56ページ）を行ないます。ビデオプリンターでプリントする操作については、ビデオプリンターに付属の取扱説明書をご参照ください。
- 再生画面情報表示（57ページ）を出した状態で画面の取り込みを行なうと、ページ表示などがそのまま印刷されますのでご注意ください。
- バッテリー警告表示（31ページ）が表示された状態で画面の取り込みを行なうと、その表示もそのまま印刷されますのでご注意ください。

QVカラープリンターとの接続 DIGITAL

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。本機のデジタル端子とQVカラープリンターのケーブル端子を、QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って接続してください。

接続できる機種：QVカラープリンター：QG-100／DP-300／DP-8000

- 接続が済んだら、【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせてから本機の電源を入れます。QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書をご参照ください。

重要！

DP-8000と接続し、印刷する画像を選択する際に、デジタルカメラ内の200番以降の画像番号が異なって表示されることがあります。画像を選択するときは、必ず画像内容を確認してから行なってください。

ワープロとの接続 DIGITAL

カシオのワープロと接続して、本機の撮影内容をワープロに取り込むことができます。取り込んだ画像は、ワープロ文書内に配置して、印刷することができます。本機のデジタル端子とワープロのオプション接続コネクターを、別売品の専用コード（SB-600）を使って接続してください。

重要！

カシオのワープロでも機種によっては接続できない場合があります。また、接続できるワープロでも機種によっては使用できる機能が異なりますので、詳しくはワープロに付属の取扱説明書をご参照ください。

- 接続が済んだら、本機の電源を入れ、【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。ワープロ側の操作については、ワープロに付属の取扱説明書をご参照ください。

カシオの他のデジタルカメラとの接続 DIGITAL

カシオの他のデジタルカメラと接続して、本機の撮影内容を他のデジタルカメラに取り込んだり、他のデジタルカメラから本機にデータを読み込むことができます。

本機のデジタル端子と他のデジタルカメラのデジタル端子を、別売品の専用コード（SB-62）を使って接続してください。

接続できる機種：カシオQV-10／QV-10A／QV-11／QV-30／QV-70／QV-100／QV-200／QV-300／QV-700

重要！

QV-700以外の機種と接続する場合は、必ずQV-700側で操作してください。

通信の準備

1. **両方のデジタルカメラの電源をOFFにします。**
2. **本機のデジタル端子と他のデジタルカメラのデジタル端子を別売品の専用コード（SB-62）を使って接続します。**
3. **両方のデジタルカメラの電源をONにします。**

通信の実行

1. **両方のデジタルカメラの【ファンクションスイッチ】を［PLAY］(再生)の位置に合わせます。**
2. **送受信したい画面を選びます。**
   - 本機から送信時 .... 本機の【＋】ボタンまたは【－】ボタンで選びます。
   - 本機へ受信時 .... 他のデジタルカメラの【＋】ボタンまたは【－】ボタンで選びます。

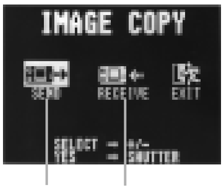
   ＊ *[REC](撮影)の状態では、通信は開始できません。*

   ＊ *マルチ画面やクローズアップ画面の通信はできません。*

   ＊ *デジタルカメラは、両方とも通常表示にしてください。*

3. **本機の【シャッター】ボタンを押します。**

4. **本機の【＋】ボタンまたは【－】ボタンで送信‘SEND’または受信“RECEIVE”を選びます。**



送信　　受信

＊ 操作を中止したい場合は“EXIT”を指定します。

5. **本機の【シャッター】ボタンを押します。**

＊ 選択した画像が送受信されます。

＊ 一度に送受信できる画像は１枚です。複数枚数やりとりする場合は２～５の操作を繰り返してください。

重要！

通信操作中は、絶対にケーブルを抜いたり、電源スイッチや、ファンクションスイッチを操作しないでください。故障の原因になります。

送信、受信による画質の関係

QV-700**と他の機種**(QV-100/QV-200/QV-300)

本機		相手
高精細画質	→	FINE
標準画質	→	FINE
エコノミー画質	→	FINE
標準画質	←	FINE
QUARTER	←	NORMAL

QV-700**と他の機種**（QV-10/QV-10A/QV-11/QV-30/QV-70)

本機		相手
高精細画質	→	NORMAL
標準画質	→	NORMAL
エコノミー画質	→	NORMAL
QUARTER	←	NORMAL

＊ QV-10/QV-10A/QV-11/QV-30/QV-70の画像はNORMALモードのみです。

＊ NORMALモードの画質は、本機では「QUARTER」として扱われます。このとき、画質モード表示は“Q”と表示されます。

パソコンとの接続 DIGITAL

本機をパソコンと接続する方法は、パソコンの機種や機能により、３通りあります。また、パソコンと接続するソフトも２種類あります。

■パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続

画像を、劣化のないデジタルデータの状態でパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の画像をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像を本機に取り込んだりすることができます。

パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

使用できるケーブル

　PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N
　IBM PC/AT互換機用：QC-1D
　Macintosh用：QC-2M

使用できるソフト

　Windows版：LS-7W
　Macintosh版：LS-8M

- Windows版、LK-1／LK-10NC／LK-10DV／LS-1Wおよび、Macintosh版、LK-2／LK-2A／LS-2Mの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証しておりませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、各々のパッケージ、または取扱説明書を参照してください。

■メモリーカードの接続

パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行なうことができます。パソコンの機種によって接続方法は異なります。代表的な接続例は以下の通りです。

重要！

メモリーカードに保存された画像を見るには、パソコンリンクソフトが必要です。

- メモリーカードスロットのある機種
  メモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  別売のPCカードアダプター＜CA-10＞を使用します。
  PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書をご参照ください。
- 一般の機種（デスクトップ型）
  市販のPCカード用　リーダー／ライターと、別売のPCカードアダプター＜CA-10＞を使用します。
  PCカード用　リーダー／ライターとPCカードアダプター／パソコンに付属の取扱説明書をご参照ください。

■ビデオキャプチャー機能を備えたパソコンとの接続 VIDEO

パソコンの機種によっては、ビデオ映像をパソコンに取り込む機能（ビデオキャプチャー機能）をあらかじめ備えているものがあります。また、ビデオキャプチャーボードを増設することによって、ビデオ映像の取り込み機能を追加できる機種もあります。このようなパソコンを使うと、本機の撮影内容をパソコンに取り込むことができます。本機のビデオ出力端子とパソコン側のビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- 接続が済んだら、本機およびパソコンの電源を入れ、本機側で再生の操作（56ページ）を行ないます。パソコン側の操作については、パソコン又はビデオキャプチャーボードに付属の取扱説明書をご参照ください。

重要！

- この接続方法では、パソコンの画像データを本機に取り込むことはできません。
- パソコンやビデオキャプチャーボードの機種によっては、ビデオ入力端子としてS端子しか持っていない場合があります。本機はS端子のビデオ入力とは接続できませんので、ご注意ください。

ご参考、および保証等について

本機の操作中に不都合があった場合は、本章の「故障とお思いになる前に」をご参照ください。製品の仕様や別売品についても、こちらに記載してあります。また、保証とアフターサービスについて、カシオのサービスセンター一覧が巻末に付記されています。

故障とお思いになる前に

	現象	考えられる原因	対処
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。 4) 【メモリーカードカバー】が開いている。	1) 電池を正しい向きに入れる(→29ページ)。 2) 新しい電池４本と交換する(→29ページ)。 3) 本機専用のACアダプター(AD-C620)を使用する。 4) 【メモリーカードカバー】を閉める。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた(→30ページ)。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池４本と交換する(→29ページ)。
	画面中央部に“ ”というマークが出た	電池が切れる寸前である。	新しい電池4本と交換する(→29ページ)。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない	1) 【ファンクションスイッチ】が[PLAY]の位置になっている。 2) メモリーカードのメモリー容量が少ないか、メモリーカードが入っていない。	1) [REC]の位置に合わせる。 2) メモリーカード内の不要な画像を削除するか、別のメモリーカードをセットする。
	ｾﾙﾌﾀｲﾏｰ撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	新しい電池４本と交換する(→29ページ)。
	液晶画面に表示される映像のピントがあまい	【 ~ ／ 】の位置が正しくない。	風景や人物撮影時は[~]に、接写時には[ ]の位置に合わせる(→43ページ)。

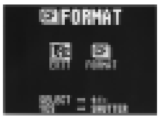
	現象	考えられる原因	対処
撮影について	室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→40ページ）。
再生について	再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	マルチ画面表示で【＋】／【－】ボタンが効かない	画面が停止した状態でないと、【＋】／【－】ボタンは効きません。	画面の停止中に【＋】／【－】ボタンを押してください。
	オートプレイしたときに、すべてのページが表示されない	1) 非表示モードになっている。 2) フォルダーが違っている。	1) 非表示モードを解除する（→81ページ）。 2) 画像のあるフォルダーを選択する。
	テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1) 本機とテレビを正しく接続していない。 2) テレビ側の設定が合っていない。	1) 付属の専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→９３ページ）。 2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。

	現象	考えられる原因	対処
再生について	撮影した一部の画像が表示されない	1) 非表示モードになっている。 2) フォルダーが違っている。	1) 【－】+【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。 2) 画像のあるフォルダーを選択する。
	マルチ画面表示されない	フォルダー内に画像データが入っていない。	画像のあるフォルダーを選択する。
	プロテクトがかけられない	非表示モードになっている。	【－】+【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。
	ALL DATA IS PROTECTED画面のままで、画像表示しない	すべての画像にプロテクトがかかっており、非表示モードになっている。	【－】+【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。
削除について	【DEL】を押しても削除指定画面に移動できない	1) 記録されているすべてのページにプロテクトがかかっている。 2) マルチ画面表示（→58ページ）またはクローズアップ（→61ページ）表示になっている。	1) 消去したいページのプロテクトを解除する（→79ページ）。 2) 通常の１画面表示にする。
その他	【F▸N▸E】を押しても画像変換画面に入らない	画像変換可能な画像がない。	

	現象	考えられる原因	対処
その他	すべてのボタン、スイッチがきかない	他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。
	液晶画面が極端に明るい、または暗い	【ブライトボリューム】の位置がずれている。	【ブライトボリューム】を調節する（→18ページ）。
	カメラtoカメラの通信モードに入れない	1) ケーブルが接続されていない。 2) 相手側のカメラの電源が入っていない。 3) 【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。	1) ケーブルを接続し直してください。 2) ケーブルを接続してから電源を入れてください。 3) [PLAY]モードでやり直してください。
	通信ができない（通信エラーになる）	1) 本体側が[MEMORY EMPTY]で送信を選択した。 2) 本体側が[MEMORY FULL]で受信を選択した。 3) 相手側が[MEMORY FULL]で送信を選択した。 4) 相手側が[MEMORY EMPTY]で受信を選択した。	メモリーを調整してから操作してください。

	現象	考えられる原因	対処
その他	通信ができない（通信エラーになる）	5) 相手側の【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。 6) 本体側が[ALL DATA IS PROTECTED]で送信を選択した。 7) 電池が消耗している。 8) 通信中にケーブルがはずれた。	5) 相手側の【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置にしてください。 6) 本体側を全画面表示モードにしてください。 7) 新しい電池に入れ替えるか、ACアダプターを接続して行なってください。 8) ケーブルをきちんと接続してください。
	相手側のキーがロックしてしまう	通信状態中は、相手側の操作はできません。	本体側で[EXIT]を選択し、通信状態を解除してください。

■画面に表示されるメッセージ

ALL DATA IS PROTECTED	非表示モードですべての画像にプロテクトが設定されているときに表示されます。また、フォルダー名が表示される場合は、フォルダー内の画像にプロテクトが設定されています。
CF CF ERROR FORMAT→MENU	メモリーカードに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。 **重要！** 下記の操作を行なうとメモリーカード内のすべての内容（ファイル）が消えてしまいます。下記の操作を行なう前に、パソコン等を使用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。 1.【MENU】ボタンを押します。  2.【＋】ボタンまたは【－】ボタンで“FORMAT”を選び【シャッター】ボタンを押します。  ＊操作を中止したい場合は、“EXIT”を指定します。 • フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用する か、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。 3.【シャッター】ボタンを押すとメモリーカードのフォーマットが開始されます。 • メモリーカードのフォーマットを中止したい場合は電源を切ってください。 • フォーマットが終了すると、“NO IMAGE”の画面が表示されます。これは、フォーマットが正しく行なわれたことを示します。

DIAL	撮影するとき、【撮影ダイヤル】が合っていないときに表示されます。
ERROR	通信にてERRORがあったときに表示されます。 もう一度ケーブルの接続や、カメラのモードを確認してから行なってください。
FULL	フォルダー内の画像が一杯になったことを示します。 １つのフォルダー内には、250枚の画像までしか保存できません。
SYSTEM ERROR CALL TECH SUPPORT	本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。この表示が出た場合は、最寄りのカシオサービスセンターにご連絡ください（→117ページ）。
MEMORY FULL	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度削除または、画像変換の操作を行なう必要があります（→82、88ページ）。また、フォルダー名が表示される場合は、フォルダー内の画像が一杯になったことを示します。
NO IMAGE	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて削除して本機に画像が１枚もない状態では、画面にこのように表示されます。また、フォルダー名が表示される場合は、フォルダー内に画像が１枚もないことを示します。
REMAINING	現在の画質モードでは撮影できる枚数がなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。【F▸N▸E】ボタンを押して画質モードを切り替えるか、一度削除の操作または、画像変換の操作を行なう必要があります（→82、88ページ）。

主な仕様

■主な仕様

記録方式 .... デジタル記録（ＪＰＥＧベース）

信号方式 .... ＮＴＳＣ方式

記録媒体 .... メモリーカード（２MB付属）

記録コマ数 .... 高精細画質14枚以上（約133KB圧縮画像）
標準画質26枚以上（約70KB圧縮画像）
エコノミー画質47枚以上（約38KB圧縮画像）
２MBメモリーカード使用時

消去 .... １画面単位、フォルダー単位、全画面一括消去可能（メモリープロテクト機能付き）

撮像素子 .... １/４インチＣＣＤ（総画素数：35万画素）

レンズ .... 固定焦点式マクロポジション付き
Ｆ2　ｆ＝3.94mm

撮影可能距離 .... 標準；0.7m～∞、接写；14cm～16cm(レンズ保護フィルター表面より)

測光方式 .... 撮像素子によるＴＴＬ中央重点測光

露出制御方式 .... プログラムＡＥ、絞り優先ＡＥ

測光連動範囲 .... ＥＶ＋５～１８

露出補正 .... －２ＥＶ～＋２ＥＶ

シャッター形式 .... 電子シャッター

シャッタースピード ...... １/８～１/４０００秒

ホワイトバランス .... 自動、固定

セルフタイマー .... 作動時間１０秒、2秒

ストロボ .... 自動発光、強制発光、発光禁止

画質選択 .... 高精細画質、標準画質、エコノミー画質

モニター .... モニター画素数：84,480画素
ファインダー兼用2.5型ＴＦＴ低反射カラー液晶

パソコン出力画素構成 .. ４８０Ｘ６４０pixels

入出力端子 .... デジタル端子、ビデオ出力端子、外部電源端子、メモリーカード端子

時計................................. 1997年1月1日 AM　0:00:00 から
2049年12月31日 PM 11:59:59 (自動カレンダー)

電源................................. 乾電池×４（単３型アルカリ電池および、リチウム電池）／ＡＣアダプター（AD-C620）

消費電力 約6.4W

電池持続時間

以下の電池持続時間は、標準温度（25°C）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使 用 電 池	単３型アルカリ電池　LR6	単３型リチウム電池　FR6
連続再生時	約 160分	約 270分
連続撮影時	約 550枚撮影可能	約 1,050枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。
連続撮影枚数は、ストロボを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。
ストロボの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。

サイズ .... 幅147mm×高さ69mm×奥行き50mm

質量.................................. 約290ｇ（電池含まず）

付属品 .... メモリーカード、ハンドストラップ、ソフトケース、専用ビデオコード、アルカリ電池（LR6×４本）、取扱説明書（保証書付き）

• 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売品

- ACアダプター　AD-C620
- メモリーカード　CF-2v(2MB)
  CF-4v(4MB)
  CF-10v(10MB)
  CF-15v(15MB)
- PCカードアダプター　CA-10
- パソコンリンクソフト　Windows版 LS-7W
  Macintosh版 LS-8M
- パソコンリンクケーブル　PC-9801/9821シリーズ用 QC-1N
  IBM PC/AT互換機用 QC-1D
  Macintosh 用 QC-2M
- QVカラープリンター　QG-100
  DP-300
  DP-8000
- データ転送ケーブル　SB-62（デジタルカメラ用）
- 通信用ケーブル　SB-600（ワープロ用）

蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオサービスセンター（117ページ）までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。